

市長

様

2009年12月 日

在来線の存続、地域の振興・発展をめざす地域の会連絡会代表 仲田 紀夫

大糸線・北陸線を守る会

妙高と信越本線を考える会

在来線と地域のあり方を考える直江津・頸城の会

在来線を守る三市連絡会

## 地域の宝である在来線の存続・充実に関する要請

市民生活の安定・向上、市政の益々の発展にまい進されていることに敬意を申し上げます。

さて新幹線開業に伴う在来線問題、街づくり事業、地域振興策、並行在来線の取り扱いなど、市政の最重要課題としその具体化がはかられています。

並行在来線をめぐっては先行三セク会社の例を見るまでもなく、前「政府・与党合意」の行き詰まりは明らかで、その抜本的見直しは沿線自治体をはじめ関係各方面の強い要望であります。

三セク経営の厳しい現実、沿線首長の相次ぐ見直し発言、地域の住民運動の高場により、政権交代後ようやく国交大臣が枠組みの再検討を表明、先の「会」の国交省要請の際にもその方針が明らかにされました。

在来線は豪雪、過疎、高齢化の厳しい環境の中で、住民の足と地域社会を守る大切な生命線です。この在来線を将来にわたり安定的に存続・運営させるため、新たな情勢をふまえ下記事項について対応されるよう要請します。

### 記

- 1 前「政府・与党合意」の並行在来線の取り扱いが見直されますが、国・JRの責任と役割を明確にするよう働きかけていただきたい。
- 2 隣接市及び住民組織との連携を深め、地域・利用者の要望を反映していただきたい。
- 3 北陸会社と協力し、はくほく線等の存続・活性化、地域の振興の方針、展望を求めている。以上

上越商工会議所

会頭 田中 弘邦 様

09年12月 1日

在来線の存続、地域の振興・発展をめざす地域の会連絡会

代表 仲田 紀夫

## 在来線存続のため、前「政府・与党合意」の見直しを求める

### 関係機関に対する働きかけ強化とアピールについてのお願い

リーマンショックに続く円高やドバイショックにさらされている中、上越地域の商業発展と住民生活安定のため昼夜奮闘している貴会議所に対し、心から敬意を申し上げます。

さて2014年度末の北陸新幹線開業に向け、中央・地方で動きが活発化し、当該地域に様々な影響、波紋が広がっています。

泉田知事の工事費追加負担、上越駅新幹線全列車停車、リース料地元還元発言など一連の対応はそれぞれ意味のあることと思いますが、肝心の住民や通勤、通学生の大切な足である在来線存続問題についていまだ明確な方針が示されていません。

このままでは従来の枠組みから一步も出ず、利用者、地域住民置き去りの由々しき事態になりかねません。

私たちは、現在まで糸魚川、上越、妙高地域で住民サイドから「会」を結成し、在来線存続のための運動を提起し展開してまいりました。今大切なことは住民サイドだけでなく行政や商工業者の立場からも積極的にこうした従来の枠組みにとらわれた状況を打開し、地域の振興・発展に何よりも大切な在来線存続の声を地域から積極的に上げていくことではないでしょうか。

私たち「会」は貴会議所に対し、下記の行動を取られますことを訴え、要請いたします。

### 記

- 1 沿線各県会議所と連携し「政府・与党合意」の見直しをアピールしていただきたい。
- 2 上記「政府・与党合意」見直しを政府及び県など関係機関に働きかけていただきたい。

以 上